

はじめに

保健所（健康福祉センター）は、地域における保健・医療・福祉の広域的・専門的・技術的拠点という役割のもと、地域住民の健康の保持及び増進を図るために、様々な分野の衛生行政にかかわる事業を行っています。昨今では、グローバル化する社会や地球温暖化の進行による気候変動等により生じる様々な問題に対応するため、健康危機管理の役割が重要視されています。そして、今、まさに、世界は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の「パンデミック」という事態に直面しており、当保健所は健康危機管理の拠点として、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために闘っております。

過去には、2009年「新型インフルエンザ」が発生、この時も、保健所の健康危機管理能力が問われる事態となりました。幸い、病原性が季節性と同程度であり、抗インフルエンザ薬による治療が効果をあげ、致死率も低かったため、WHOがPHEIC（国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態）の宣言をしてから3か月程度で厚生労働省は方針を変更し、原則、全医療機関での診療を決定、また、全数把握は中止となり季節性インフルエンザとほぼ同様な扱いとなりました。

10年が経過し、今、また、新興感染症と対峙する事態となりました。当初、ワクチンもなく、新型コロナウイルスに特化した抗ウイルス薬もありませんでしたが、現在はワクチンが開発され接種も進んでおり、治療薬も日々、開発されています。しかし、第5波では管内の新規感染者数、自宅療養者数ともに最高を記録しました。厳しい状況でしたが、関係機関の皆さまの御協力を得て乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。まだ、収束は見ておりませんが、職員一丸となって地域に応じた対策を講じていく所存ですので、関係機関の皆さまの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、事業年報は、令和2年度の野田保健所（健康福祉センター）の事業実績を取りまとめたものです。地域の資料として御活用いただければ幸いと存じます。

令和3年9月

千葉県野田保健所長（野田健康福祉センター）

新 玲子

目 次

I 総括	1
1 沿革	2
2 概要	3
3 管内の状況	4
4 健康相談	7
5 各種委員会	7
6 機構及び事務内容	10
7 職員数及び配置状況	11
II 総務企画課の業務概要	14
1 歳入・歳出決算	14
2 医務関係	16
3 薬務関係	19
4 献血推進事業	23
5 地域保健医療計画の推進	23
6 厚生統計調査	24
7 協議会・委員会の開催状況	30
8 保健所保健・福祉サービス 調整推進事業	30
9 地域保健従事者研修・保健所 実習	30
10 広報・啓発事業	30
11 地域防災対策	31
III 地域保健福祉課の業務概要	34
1 保健師関係指導事業	34
2 母子保健事業	37
3 成人・老人保健事業	43
4 一人ひとりに応じた健康支援 事業	44
5 総合的な自殺対策推進事業	44
6 地域・職域連携推進事業	45
7 栄養改善事業	46
8 歯科保健事業	53
9 精神保健福祉事業	54
10 肝炎治療特別促進事業	60
11 肝がん・重度肝硬変治療 研究促進事業	61
12 難病対策事業	61
13 受動喫煙対策	70
14 市町村支援	70

15 福祉関係事業	71
IV 健康生活支援課の業務概要	80
1 結核予防事業	82
2 感染症予防事業	91
3 エイズ対策事業	98
4 原爆被害者対策事業	101
5 食品衛生事業	103
6 狂犬病予防事業及び動物愛護 管理事業	111
7 環境衛生事業	115
V 資料編	123
1 野田保健所管内保健・介護 サービス施設	124
2 学会・研究会における発表	125
3 表彰関係一覧表	126
保健所案内	127

凡例

- 1 各表、図は、年とあるものは1月～12月の暦年、年度とあるものは、1月～翌年3月の会計年度である。
- 2 各表中、年号標記のない資料は、令和2年度分（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
- 3 各表欄外の注を参照のこと。
- 4 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって、合計表と内訳の計が一致しない場合もある。
- 5 各表の符号は、特にことわりのない場合は、次のとおりである。
「0」掲載単位に満たないもの
「-」該当なし
「…」事実不詳又は資料無し
「△」現象を示す